

2017年3月29日

アジア開発銀行が発行する初の「ヘルス・ボンド」へ投資 ～アジア太平洋地域における保健衛生支援～

第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎、以下「当社」)は、アジア開発銀行(The Asian Development Bank; 本部:フィリピン・マニラ、以下「ADB」)が発行する「ヘルス・ボンド」^{※1}(Health Bond)への投資を実施しました。本債券は、ADB が世界で初めて発行するもので、当社は、今般発行される本債券の全額を購入しました。

また、本債券はクレディ・アグリコル CIB による組成・アレンジにより発行されるもので、概要は以下の通りです。

<本債券の概要>

発行体: アジア開発銀行(S&P 格付:AAA、Moody's 格付:Aaa)

発行額: 140 百万ニュージーランド・ドル(約 110 億円)

償還期間: 10 年

引受主幹事: Crédit Agricole CIB

※1 「ヘルス・ボンド(Health Bond)」について

ヘルス・ボンド(Health Bond)により調達された資金は、アジア太平洋地域の保健衛生に関する課題に取り組むため、アジア開発銀行の保健衛生プロジェクトに使用されます。

アジア太平洋地域は、ここ数十年著しい経済成長を遂げ現在もなお急速に発展しています。しかしながら、いまだに貧困地区が存在し、医療費の負担も高額で、社会インフラも脆弱なままです。このことが包括的かつ持続的な成長を阻害しており、特に医療に対するニーズは、保健衛生に関するインフラ及びシステムに対する投資の緊急性とともに大きくなってきています。

一方で、保健衛生分野への投資には大きな資金が必要となります。高度に訓練された人材、利用が容易な医療機器、それらが一体となった医療体制整備等、莫大な社会インフラ及び保健衛生インフラが必要となります。また、保健衛生に対する投資は、国民皆医療保険制度の実現や、高度な医療サービスを適正な医療費で提供し続けるという意味で、持続可能なものでなくてはなりません。

ヘルス・ボンド(Health Bond)への投資は、そのような取組みを資金面から支援するものです。



(写真提供元: アジア開発銀行)

なお、当社のコメントは、以下の通りです。

「当社は、近年E・S・Gの視点を盛り込んだ資産運用※2に積極的に取り組んでおり、2015年11月には国連の責任投資原則(Principles for Responsible Investment: PRI)にも署名※3しました。今回その一環として、アジア太平洋地域における保健衛生を支援し、包括的で持続可能な成長への貢献を目指すADBのヘルス・ボンドの趣旨に深く賛同しました。機関投資家として世界で初めて本債券に投資することにより、ADBの取組みに対して金融面でのサポートができることに大きな社会的意義を見出しています。また、資産運用の観点でも高い安全性を確保しつつ、魅力的な収益を期待できる希少な投資機会であると考えています。」



(写真提供元：アジア開発銀行)

※2 E・S・Gとは、それぞれ Environment、Society、Governance の頭文字です。第一生命では、安全性・収益性の視点に加え、社会性・公共性(環境保護や社会貢献、ダイバーシティへの取組み、コーポレートガバナンス等)の視点も盛り込んだ資産運用に取り組んでいます。

※3 当社ホームページ 2015年11月2日「国連責任投資原則への署名の決定について」をご参照ください。

http://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2015_062.pdf

《ご参考》

関連リンク

- 第一生命ホームページ「ESG 投融資」

URL : <http://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/investment/esg.html>

- ESG 債投資関連のリリース一覧

リリース日	発行体	テーマ	金額 (億円)
2014/12	国際金融公社(IFC)	世界の開発途上国における低所得者層のビジネス参画支援	約120
2015/7	米州開発銀行(IADB)	ラテンアメリカ及びカリブ海地域の開発途上国における若年層の教育・雇用支援	約60
2015/12	欧州復興開発銀行(EBRD)	中東欧を中心とした開発途上国における中小・零細企業の支援	約130
2016/9	独立行政法人国際協力機構(JICA)	ソーシャルボンド(社会開発に資する事業への資金活用)	約20
2016/10	アフリカ開発銀行(AFDB)	アフリカにおける農業・農業ビジネス支援	約50

- 第一生命ホームページ「社会課題解決への取組み 健康の増進」

URL : <http://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/welfare.html>

《ご参考》

会社名	アジア開発銀行 (The Asian Development Bank)
URL	www.adb.org
会社概要	アジア開発銀行は、フィリピンのマニラに本部を置き、インクルーシブな経済成長、環境的に持続可能な成長そして地域統合を通じて、アジア太平洋地域の貧困問題を解消することを使命としています。1966年に設立され、加盟国は67ヶ国(うちアジア太平洋地域からは48ヶ国)にのぼり、地域開発のパートナーとして50周年を迎えました。詳細はホームページを参照願います。

会社名	クレディ・アグリコル CIB
URL	www.ca-cib.co.jp
会社概要	クレディ・アグリコル・グループ(中核的自己資本世界第11位、バンカー誌 2016年7月)の法人営業及び投資銀行部門。クレディ・アグリコル CIB は、資本市場、投資銀行、ストラクチャードファイナンス、コーポレートバンキングにおける商品を包括的に顧客に提供しています。クレディ・アグリコル CIB は、そのグローバルなネットワークを通じ、ヨーロッパ、米州、アジア環太平洋、中東の主要各国における顧客サポートを行っています。日本におけるクレディ・アグリコル CIB はウェブサイトをご参照ください。